

平成25年2月28日
(2013年)

大阪狭山市議会議長 山本尚生様

大阪狭山市議会改革特別委員会
委員長 西尾浩次

議会改革特別委員会第2回中間報告書

本委員会では、平成24年2月27日の第1回中間報告以降、議会改革への取組みが停滞することのないよう引き続き調査・検討を進め、中でも、第1回中間報告において優先課題とした通年議会に関する事、議会報告会の開催に関する事を重点に議論を深め、現在まで18回にわたり調査・検討を行いました。

つきましては、本委員会での調査検討結果等について、大阪狭山市議会会議規則第45条第2項の規定により、下記のとおり報告いたします。

なお、本委員会では結論を得た事項については、これを実現されるよう特段のご配慮をお願い申し上げます。

記

1. 経過

平成24年3月議会定例会において、本委員会の報告を行った中で、引き続き調査・検討に取り組むこととした通年議会に関する事、議会報告会の開催に関する事及び決算委員会に関する事その他優先課題とした項目について、どのように進めていくかを協議し、まず、通年議会の実施に加え、議会報告会についても今年度内に意見を集約し、結論を出すこととしました。

その上で、通年議会において先進的な取組みをされている三重県四日市市議会を昨年8月7日に議員全員で視察し、また、通年議会や議会報告会と同様に課題としていた決算委員会に関する事や、現在、試行として実施している本

会議における一般質問に係る一問一答制、議員が街頭で啓発活動を行う議会傍聴呼びかけ活動については、引き続き実施しながら検証を行い、今後の展開について議論していくこととしました。

2. 調査・検討結果

(1) 通年議会について

議会の定例会の回数を年1回とし、会期を通年とする「通年議会」の実施について、平成25年度からの導入を目標とし、次のとおり結論を得ました。

- ① 会期については、議員の任期満了月を考慮し、5月から翌年4月末までの間で定めるものとする。
- ② 定例会において開く会議の種類は、開会議会、定例月議会、緊急議会、及び閉会議会とする。
- ③ 会議の開催については、現行の本会議開催状況を勘案し、当面は現行維持を基本とする。
- ④ 一事不再議の取扱いについては、現行の「定例会の会期」を、通年議会実施後は「定例月議会の議会期間」と置き換えるものとし、同一の定例月議会の議会期間中は、一度議決を得られた議案等については再び議決を得るための提出はできないこととする。
- ⑤ 専決処分を取扱いについては、本委員会で引き続き調査・検討するものとし、市当局の意見を勘案し、慎重に対応する。
- ⑥ 本会議における一般質問に係る一問一答制を本格実施するとともに、市長等は議長の許可を得て、議員に対して反問することができることとする。
- ⑦ 常任委員会における所管事務調査については、調査するテーマを検討し、原則として議会期間以外の日に実施する。
- ⑧ 議員間討議については、議会としての意思決定を行う前段階として、議員間での議論を深めるために用いるものとし、現行において、議員全員協議会等を活用して実施した事例もあり、引き続きそのような機会を活用して実施する。
- ⑨ 市長等の説明者の会議への出席については、事務に支障を及ぼすこと

のないよう配慮する。

- ⑩ 本会議において、公聴会及び参考人制度を積極的に活用するための条件整備を行う。
- ⑪ 通年議会を実施するために必要な制度設計に着手し、関係する条例や規則等の原案を別紙のとおり作成した。

(2) 議会報告会について

本委員会では、議会報告会の開催について、通年議会と同様に平成25年度からの実施を目標とし、次のとおり結論を得ました。

- ① 市内2箇所、2班に分かれて開催する。
- ② 年4回の開催を目標として引き続き調査・検討していく中で、当面は、予算及び決算を審議した議会の内容の報告を主として、試行的に年2回開催する。
- ③ 報告会の運営は、議会の審議内容を報告する「議会報告会」を1部とし、2部を「市民との意見交換会」とする2部制で実施する。また、報告会は土曜日又は日曜日の開催を原則とし、その時間帯は、午後から夜間で調整する。
- ④ 初回の議会報告会については、平成24年度の決算に関する事項の報告を想定し、また、具体的な運営の手法等については更に調査・検討していくこととした。

(3) 決算委員会について

決算委員会については、特別委員会として設置を求める意見と、現行の各常任委員会での審査を鑑み、特別委員会として設置は必要ないとの両意見があり、加えて、例え各常任委員会で審査する場合となっても、審査に必要な資料は早めの配布に改善されることを望む意見があった。

また、事前の説明や意見交換等の機会（議員全員協議会等）を設けてはどうかといった意見もあったが、資料の配布の時期や事前の説明については、市当局との調整の必要性から時間を要するため、引き続き調査・検討していくこととした。

3. 終わりに

この度の報告では、通年議会の実施や議会報告会の開催を中心に調査・検討し、委員全員が一致して結論を得た事項について取りまとめました。

とりわけ、通年議会に関しては、本年5月からの実施をめざして、関係する条例及び規則について本年3月議会定例会への提案を視野に原案の作成を行いました。専決処分の取扱いをはじめ、引き続き調査・検討を必要とする課題も残されています。

また、調査・検討結果においても述べたように、議会報告会及び市民との意見交換会の具体的な手法等に関することや決算委員会に関することについての諸課題については、引き続き調査・検討を進めていきます。

議会改革特別委員会委員名簿

区 分	氏 名	所 属 会 派
委員長	西 尾 浩 次	政 友 会
副委員長	鳥 山 健	みらい創新
委 員	諏 訪 久 義	新 風 会
委 員	徳 村 賢	公 明 党
委 員	中 井 新 子	みらい創新
委 員	松 尾 巧	日本共産党議員団
委 員	丸 山 高 廣	フロンティアネット